

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

メディア（ジャーナリズム）専攻プログラム

<p>履修のしかた</p> <p>メディア・ジャーナリズム専攻は、将来メディア業界をめざす学生はもちろん、少しでも自分のメディアリテラシーを高めたい学生も大歓迎します。カリキュラムは「導入」「検証」「演習」と、次第に専門性を高めていく方式を採用しています。計画的に学習すれば、メディアやジャーナリズムについての体系的知識や実践につながる利用法などを身につけることが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">• 1年次に履修しておいた方がいい科目 まず、メディア各界に関する基本的知識を身につける「新聞の世界」など4科目からなる「世界シリーズ」を1科目か2科目履修して、この世界を身近に感じることをお勧めします。さらに、必修基礎科目である「ジャーナリストへの道」「メディアーきのう 今日 明日ー」を履修し、メディア・ジャーナリズムの歴史や論理、つまり根本的な知見を身につけてください。• 2年次に履修しておいた方がいい科目 導入科目を押さえたら、次は「読むシリーズ」と「ジャーナリズムシリーズ」に挑戦してください。これらは実践的にジャーナリズムに触れて、その実情を理解する科目です。「読む」は「社説」「英字紙」など、「ジャーナリズム」には「日本」「アメリカ」「出版」「スポーツ」などを多彩な科目が用意されています。• 3年次科目の注意点 「マスコミ特訓講座」と「現代ジャーナリズム研究」は注意が必要です。「マスコミ」では「新聞、出版、映像、ネット」の4科目、「研究」ではインターネットジャーナリズム、戦場ジャーナリズム、まんが・アニメの3科目があります。いずれも複数履修可能です。
<p>他の専攻プログラムとの関係</p> <ul style="list-style-type: none">• 他の専攻プログラムで履修を推奨する科目 メディアやジャーナリズムを勉強する際には注意が必要です。この専攻で学ぶメディアは媒体のこと、ジャーナリズムは言論の手法や理屈、つまり両方とも「容器」のことです。一方、実際に伝えられる「中身」「コンテンツ」は政治であり、経済であり、国際問題などもあります。さらにそれらをよりよく理解・実践するには歴史や哲学、思想などの知識も欠かせません。このことに留意して、この専攻の学生はメディア・ジャーナリズムばかりでなく政治、法律、経済、国際関係、社会問題、歴史、哲学など、幅広く履修することを望みます。
<p>留学・教職その他</p> <p>特になし</p>
<p>学生へのメッセージ</p> <p>担当教員は、各メディア業界の現場に詳しい経験者を中心に構成されています。このため、いわゆる概論ばかりでなく、実体験に基づいた「現場の様子」がわかる科目構成になっています。さらにジャーナリズムを扱うため、日々のニュースを取り上げる科目も多く、より実践的なカリキュラムになっています。</p> <p>本プログラムを履修する学生は、新聞やテレビの報道番組はもちろん、雑誌などにもなるべく多く触れてください。</p> <p>そうすれば、就活の助けになるばかりでなく、メディアリテラシーが必ず向上し、よりよき人生を送る助けにもはるはずで。</p>

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム

1 活字メディア 履修モデル

本履修モデルでは、新聞や出版といった「活字メディア」についての歴史や動向、現状を講義形式の授業で学ぶだけではなく、実際に読んだり書いたり調べたり、「ジャーナリスト」としての素養を身につけることを狙っています。

必修の「メディアーきのう 今日 明日ー」「ジャーナリストへの道」、「世界シリーズ」では新聞と出版、「ジャーナリズムシリーズ」では4科目すべて、「読む」シリーズでも3科目すべてを受講したらどうでしょうか。

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入	◎	MJS1000L	メディアーきのう 今日 明日ー	2		MJS2020L	テレビ・放送の世界	2								
	◎	MJS1001L	ジャーナリストへの道	2	○	MJS2010L	新聞の世界	2								
		COM1000L	現代コミュニケーション理論	4	○	MJS2030L	出版の世界	2								
		IST1180L	情報と社会	2		MJS2050L	広告の世界	2								
検証		LAW1020L	日本国憲法	2		IST2471L	マルチメディア表現 I	4								
		COM1130L	集団コミュニケーション	2		MJS2250L	広告コピーを読む	2	○	MJS3210L	新聞社説を読む	2				
					○	MJS2230L	出版ジャーナリズム	2	○	MJS3211L	地方紙を読む	2				
					○	MJS2460L	スポーツジャーナリズム	2	○	MJS3280L	英字紙を読む	2				
					○	MJS2200L	日本のジャーナリズム	2		SOC3130L	現代社会研究	4				
					○	MJS2201L	アメリカのジャーナリズム	2		LIT3334L	中国のマスコミ	4				
						MJS2270L	若者とメディア	2		MJS347*L	現代メディア研究	2				
						POL2150L	現代日本の政治	4		SOC3350L	環境社会学	4				
演習						SOC2021L	社会調査法	4								
									○	MJS3470L	メディアと人権	4				
										MJS3471L	環境とメディア	4				
										MJS3472L	女性とメディア	4				
										MJS3473L	子供とメディア	4				
									MJS3460L	スポーツにんげん学	4					
									MJS3490L	雑誌をつくる(デジタル編集実践講座)	4					
									MJS349*L	マスコミ特訓講座	2					

その他の推奨科目 ※〔 〕内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業論文[4]

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム

2 映像メディア 履修モデル

本履修モデルは、テレビや広告といった「映像メディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、「広告マン」や「ジャーナリスト」としての素養を身につけることを狙っています。
 必修の「メディアーきのう 今日 明日ー」「ジャーナリストへの道」を導入講座と位置づけ、この専攻プログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。
 「テレビ・放送の世界」「広告の世界」「広告コピーを読む」などの授業では、実際にテレビ局や広告会社で活躍している現役社員などに話してもらう企画もあります。

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000				
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
導入	◎	MJS1000L	メディアーきのう 今日 明日ー	2	○	MJS2020L	テレビ・放送の世界	2									
	◎	MJS1001L	ジャーナリストへの道	2		MJS2010L	新聞の世界	2									
		COM1000L	現代コミュニケーション理論	4		MJS2030L	出版の世界	2									
		IST1180L	情報と社会	2	○	MJS2050L	広告の世界	2									
		LAW1020L	日本国憲法	2	○	IST2471L	マルチメディア表現 I	4									
検証		COM1130L	集団コミュニケーション	2	○	MJS2250L	広告コピーを読む	2	○	MJS3210L	新聞社説を読む	2					
						MJS2230L	出版ジャーナリズム	2		MJS3211L	地方紙を読む	2					
						MJS2460L	スポーツジャーナリズム	2		MJS3280L	英字紙を読む	2					
						MJS2200L	日本のジャーナリズム	2		SOC3130L	現代社会研究	4					
						MJS2201L	アメリカのジャーナリズム	2		LIT3334L	中国のマスコミ	4					
						○	MJS2270L	若者とメディア	2		MJS347+L	現代メディア研究	2				
						POL2150L	現代日本の政治	4		SOC3350L	環境社会学	4					
						SOC2021L	社会調査法	4									
演習									○	MJS3470L	メディアと人権	4					
										MJS3471L	環境とメディア	4					
										MJS3472L	女性とメディア	4					
										MJS3473L	子供とメディア	4					
										MJS3460L	スポーツにげん学	4					
										MJS3490L	雑誌をつくる(デジタル編集実践講座)	4					
									○	MJS349+L	マスコミ特訓講座	2					

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究[4]

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム

3 インターネットメディア 履修モデル

本履修モデルは、「インターネットメディア」の歴史や動向、社会的な影響力や役割を講義形式の授業で学ぶだけではなく、読んだり書いたり創ったり、ネットジャーナリストやウェブ編集者としての素養を身につけることを狙っています。
 必修の「メディアーきのう 今日 明日ー」「ジャーナリストへの道」を導入講座と位置づけ、この専攻プログラムを履修するにあたっての基礎的な知識を身につけます。
 「現代メディア研究(インターネットジャーナリズム)」、「マスコミ特訓講座(インターネット)」は不可欠な授業です。
 さらに「世界シリーズ」「ジャーナリズムシリーズ」などで幅広く各業界に関する知見を身につけてください。

メディア(ジャーナリズム)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000				
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	
導入	◎	MJS1000L	メディアーきのう 今日 明日ー	2	○	MJS2020L	テレビ・放送の世界	2									
	◎	MJS1001L	ジャーナリストへの道	2	○	MJS2010L	新聞の世界	2									
	○	COM1000L	現代コミュニケーション理論	4		MJS2030L	出版の世界	2									
		IST1180L	情報と社会	2	○	MJS2050L	広告の世界	2									
		LAW1020L	日本国憲法	2	○	IST2471L	マルチメディア表現 I	4									
検証		COM1130L	集団コミュニケーション	2	○	MJS2250L	広告コピーを読む	2		MJS3210L	新聞社説を読む	2					
						MJS2230L	出版ジャーナリズム	2		MJS3211L	地方紙を読む	2					
						MJS2460L	スポーツジャーナリズム	2		MJS3280L	英字紙を読む	2					
						MJS2200L	日本のジャーナリズム	2	○	SOC3130L	現代社会研究	4					
						MJS2201L	アメリカのジャーナリズム	2		LIT3334L	中国のマスコミ	4					
						○	MJS2270L	若者とメディア	2	○	MJS347+L	現代メディア研究	2				
						POL2150L	現代日本の政治	4		SOC3350L	環境社会学	4					
						SOC2021L	社会調査法	4									
演習									○	MJS3470L	メディアと人権	4					
										MJS3471L	環境とメディア	4					
										MJS3472L	女性とメディア	4					
										MJS3473L	子供とメディア	4					
										MJS3460L	スポーツにげん学	4					
										MJS3490L	雑誌をつくる(デジタル編集実践講座)	4					
									○	MJS349+L	マスコミ特訓講座	2					

その他の推奨科目 ※[]内は単位数

- ・専攻演習 I [2]
- ・専攻演習 II [2]
- ・卒業研究[4]